

2026年度 香川大学グローバル人材育成特定基金事業

＜募集要項＞

I 目的

この事業は、香川大学グローバル人材育成特定基金運営要項に基づき、本学のグローバル化の推進を図ることを目的としています。

II 援助対象事業

援助対象事業は次のとおりとし、交付された年度内に実施、又は開始されるものとします。各事業の項目は1及び2のとおりです。

1. 外国人留学生奨学援助事業

外国人留学生の本学への円滑な受入れ及び外国人留学生の本学入学後の学習効果の向上に資するため、経済的な援助を必要とすると認められる者に対し奨学金の支給を行う事業

2. 外国へ留学する学生援助事業

本学と外国の大学等（語学学校含む）との合意に基づき留学する学生に対し奨学金の支給等を行う事業

III 応募資格

「1. 外国人留学生奨学援助事業」及び「2. 外国へ留学する学生援助事業」：本学の学生当該部局等の教員が推薦、申請するものとします。ただし、「1. 1) 外国人留学生奨学援助事業（A）」については、学生本人が申請するものとします。

「2. 外国へ留学する学生援助事業」については、本資金により過去3年間に援助を受けた者は、当該事業への応募資格はありません。

IV 応募方法

応募者は、援助対象事業ごとに所定の申請書及び必要な添付書類等を作成し、所属部局長等を通じて国際課へ提出してください。その際、書類は白黒とし、添付書類は簡潔に数枚にまとめてください。申請にあたっては、変更が生じることのないように綿密な計画を立ててください。

V 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において、書類選考並びに必要に応じて面接等を行い決定します。場合により、追加資料の提出を求める場合があります。

選考は提出された計画に基づいて行われます。採択後に計画変更が生じることのないように充分ご留意願います。

本援助事業に関して、原則として他の基金、団体等からの奨学金、助成金等を重複して受給することは認められません。重複して採択された場合は、いずれかを辞退願います。

VI 報告

援助事業に採択された場合は、事業終了後、1ヶ月以内に所定の事業実施報告書及び支出報告書を作成し、所属部局長等から国際課へ提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

なお、報告書は、適宜、公表します。また、実施報告会で報告して頂くことがあります。

VII 事業計画の変更について

採択後に止むを得ず事業計画変更等の必要が生じた場合は、原則として事業実施の1ヶ月前までに所属部局長等を通じて国際課へ提出してください。変更事由等によっては認められない場合もあります。

なお、事業計画変更の了承をとらずに実施した場合には、支給額を返還して頂きます（本人の責によらないものを除く）。

VIII その他

部局等に配分された予算の採択者への支払は、各部局の判断により適切な時期に行ってください。

1. 外国人留学生奨学援助事業

1) 外国人留学生奨学援助事業 (A)

(1) 対象者及び条件

2026年4月以降、本学に在学する正規の私費外国人留学生（愛媛大学大学院連合農学研究科を含む）で、部局の長等が推薦し、学業・人物等に優れ、学費の支弁上、経済的な援助を要すると認められる者とします。修業年度を超えて在籍するものは対象外とします。

ただし、外国政府派遣留学生及び香川県招致留学生並びに2026年4月以降他の団体から、1年以上継続して月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定している者は除きます。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業 (B) との併給は認められません。

(2) 募集人員 3人程度

(3) 募集期間 2026年3月2日（月）～4月17日（金）

(4) 支給額 月額30,000円

(5) 支給期間 2026年4月から2027年3月までの1年間

(6) 申請書等

① 香川大学グローバル人材育成特定基金事業（外国人留学生奨学援助事業（A））及び外国人留学生対象民間奨学金等申請書（様式1-1）

(7) 選考方法

外国人留学生対象民間奨学金等奨学生の選考と併せて行います。

書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式3-2）を作成し、所属部局長等から国際課に提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

(9) その他

① 毎月15日までに部局窓口で在籍確認簿（様式3-1）に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。ただし、母国に一時帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合及び15日間以上海外で滞在する場合には、当該月の援助金を支給しません。

② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金を支給しません。

（ア）本学の学生としての身分を失った場合

（イ）病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合

（ウ）他の団体から1年以上継続する月額2万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合

（エ）その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合

2) 外国人留学生奨学援助事業 (B)

(1) 対象者及び条件

2026年4月以降に在籍し、部局の長等が推薦する以下の者。

学術交流協定校出身の私費外国人のうち、ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食と環境保全特別コース」プログラムを含む、大学が推進する特別なプログラムによる学生。ただし、独立行政法人 日本学生支援機構の「海外留学支援制度（協定受入れ）による短期留学生」及び他の団体から奨学金を受けることが決定している者は、奨学金受給金額の合計が月額10万円を超えない額を支給するものとします。

また、本基金の外国人留学生奨学援助事業 (A) との併給は不可です。

(2) 募集人員 2人

(3) 募集期間 2026年3月2日（月）～3月13日（金）

(4) 支給額 月額48,000円以内

(5) 支給期間 1年以内

(6) 申請書等

外国人留学生奨学援助事業 (B) 申請書（様式1-2）

(7) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間終了後1ヶ月以内に実施報告書（様式3-2）を作成し、所属部局長等から国際課へ提出してください。3月に終了する事業については、3月31日までに必ず提出してください。

(9) その他

- ① 毎月、15日までに部局窓口で在籍確認簿（様式3-1）に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。ただし、母国に一時帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合及び15日間以上海外で滞在する場合には、当該月の援助金を支給しません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金は支給しません。
 - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
 - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合
 - (ウ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合

3) 外国人留学生奨学援助事業 (C)

(1) 対象者

2026年4月以降本学に在籍し、部局の長等が推薦する以下全てを満たす者。

- ① 本学との学術交流協定に基づき、海外の大学に在籍したまま1年以内の期間受け入れる特別聴講学生・特別研究学生
- ② 本学が海外教育研究交流拠点または重点地域^{※1}と位置付けた協定校に在籍する者

※1 重点地域とは、香川大学が国際戦略上のメインターゲットとする「ASEAN+中国、韓国、台湾」を指します。

(2) 募集人員・対象部局 第1期（3月） 1人程度（インターナショナルオフィス）

第2期（7月） 1人程度（教育学部・教育学研究科・創発科学研究科
(教育・人文系領域))

(3) 募集期間 第1期 2026年3月2日（月）～3月13日（金）

第2期 2026年7月13日（月）～7月24日（金）

(4) 支給額 月額15,000円

(5) 支給期間 第1期 2026年4月から2027年3月までの1年間

第2期 2026年10月から2027年9月までの1年間

(6) 申請書等

外国人留学生奨学援助事業 (C) 申請書（様式1—3）

(7) 選考方法

香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(8) 報告書

本援助事業を受給した者は、受給期間修了後1ヶ月以内に実施報告書（様式3—2）を作成し、3月31日までに所属部局長等から国際課へ提出してください。

(9) その他

- ① 毎月、15日までに部局窓口で在籍確認簿（様式3—1）に署名をしたうえで、援助金の支給を受けること。母国に帰国中等で当該月内に在籍確認がとれない場合及び15日間以上海外で滞在する場合には、当該月の援助金を支給しません。
- ② 援助金支給期間中に、下記の一に該当する場合は、翌月以降の援助金は支給しません。
 - (ア) 本学の学生としての身分を失った場合
 - (イ) 病気その他の理由により、修学又は研究が継続される見込みのない場合
 - (ウ) 他の団体から、月額3万円以上の奨学金等を受けることが決定した場合
 - (エ) その他本援助金を受給する者として不適格と認められた場合
- ③ 第1期に何らかの理由で不採択になった者が、第2期に再申請する場合、4月に遡って支給することはしません。

4) 外国人留学生奨学援助事業 (D)
(大学推薦 (一般枠) 大学が旅費を負担する者の帰国旅費)

本事業は 2023 年度を以て終了しました。

外国人学部留学生奨学援助事業 (E)

(令和5 (2023) 年度4月以降に学部に入学した留学生のうち、授業料の納付が困難な者への生活支援一時金)

(1) 対象者

令和5 (2023) 年度4月以降に本学学部へ入学した正規の私費外国人留学生（科目等履修生、研究生等を除く。）で、部局の長等が推薦し、学業・人物等に優れ、経済的理由により授業料の納付が困難であると認められる者とします。

(2) 募集人員 12名

(3) 募集期間 2026年9月7日（月）～2026年9月25日（金）

(4) 支給額 100,000円

(5) 申請書等

本学の授業料免除申請に準じます。

提出書類の様式は（様式1－4から様式1－5）のとおりです。

(6) 選考方法

本学の授業料免除等選考基準に準じて選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(7) その他

2. 外国へ留学する学生援助事業

1) 外国へ留学する学生援助事業

(1) 対象者

2026年度に日本から外国の大学等へ留学する本学の学生で次の各号の一に該当し、部局の長等が推薦する者。

① 学部または大学院に在籍している者で、6ヶ月以上1年までの期間留学する者

大学等での在学期間を留学期間とし、移動日は含みません。年度内に事業が開始されるものに限り、次年度へ跨ることを可とします。

語学研修での留学も含まれますが、その場合には協定校等が開講している語学研修や、生協等により実施され充実した内容であることがプログラム（受講内容が明示されたもの）等により証明できるものに限ります。

② ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム等により外国の大学へ留学する者

(2) 募集人員

① 第1期（2026年2月） 1人程度

② 第2期（2026年6月） 1人程度

(3) 募集期間

① 2026年4月以降に留学を開始する者

第1期 2026年2月2日（月）～2月27日（金）

② 2026年9月以降に留学を開始する者

第2期 2026年6月1日（月）～6月30日（火）

(4) 支給額

準備金※40,000円又は80,000円+奨学金30,000円／月

※準備金

アジア地域（アフガニスタン、インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国（香港、マカオ含む）、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス）は40,000円、その他の地域は80,000円

(5) 申請書等

外国へ留学する学生援助事業申請書（A）（様式2-1）。また、以下の書類を添付してください。

① 相手大学等との受入についての交渉状況が分かるもの（ない場合はその理由）

（ア）私費で留学する場合には、相手大学の受入れ承認を示すもの

（イ）交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合には、相手大学と本学部局等の承認を示すもの

（ウ）語学研修の場合には、プログラム等受講内容が証明できるもの

② 本学学部及び大学院の直近の成績表

③ TOEIC公式認定証等当該国言語のコミュニケーション能力を示す書類があれば、その写し

④ 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合、交流実績を示す書類

⑤ 大学以外へ留学する場合、留学先の詳細が分かる書類

(6) 選考方法

- ① (1) 対象者①に該当する者 書類選考と 15 分ほどの面接を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。面接については、別途通知します。
- ② (1) 対象者②に該当する者 書類選考を行い、香川大学インターナショナルオフィス会議において決定します。

(7) 報告書

本援助事業を受給した者は、留学期間終了後 1 ヶ月以内に実施報告書(様式 3-3、3-4)を作成し、所属部局長等から国際課へ実施報告書を提出してください。

(8) その他

- ① 他団体等から留学のための奨学金(調査及び研究補助等による報酬含む。)を受ける際には、その平均月額が 2 万円を超えないこと。超える場合は併給を認めません。
- ② 本援助事業を受給した学生は、香川大学インターナショナルオフィス等の依頼に応じて、海外留学フェア等で帰国報告を行って頂く場合があります。
- ③ インターナショナルオフィスが指定する海外旅行保険に加入すること。
- ④ 渡航前に本学が開催する海外危機管理セミナーに必ず出席すること。
- ⑤ 準備金は募集開始時にすでに渡航している学生には支給されません。
- ⑥ 一度何らかの理由で不採択となった者が再申請する場合、準備金及び再申請前の留学期間分を支給することはできません。
- ⑦ (1) 対象者①に該当する者が、留学計画に変更が生じ、留学期間が 6 ヶ月に満たなくなった場合には、支給額を返還して頂きます(本人の責によらないものを除く)。
- ⑧ 第 1 期ならびに第 2 期の募集枠で採択者がいない場合は 2026 年 12 月に追加募集を行います。

ねんど がつき
2026年度4月期がいこくじんりゅうがくせいいたいしょうかくしゅしょがくきんとうしんせいしょ
外国人留学生対象各種奨学金等申請書ねん がつ じゅきゅうかいし かくしゅしょがくきんせんこう しんせいしょ
(※2026年4月に受給開始となる各種奨学金選考への申請書です。)ねん がつ にち
年 月 日しょぞく
所属がくぶ
□学部けんきゅうか
□研究科がくぶ
□学部しゅうし
□修士はかせ
□博士ねん
年けんきゅうせい
□研究生

※2026年4月の時点での所属を記入してください。

年齢

さい
歳 (2026年4月1日時点)ざいせききかん
在籍期間ねん
年がつ
月にち
日

～

ねん
年がつ
月にち
日しめい
氏名

フリガナ

がくせきばんごう
学籍番号くに
国・地域ざいりゆうしかく
在留資格

2026年4月以降に受給する(申請中の)奨学金 (受給中・申請中・なし)

しょがくきん
奨学金の名称にほんこくがい
(日本国外からの奨学金も含む)じゅきゅうがく
受給額えんつき
円/月じゅきゅうきかん
受給期間ねん
年がつ
月ねん
年がつ
月にほんご
日本語で申請書が書けるか (可・不可)にほんご
日本語で面接が受けられるか (可・不可)にほんご
日本語で研究内容の発表ができるか (可・不可)

(不可の場合、上記が必要な奨学金については選考の対象外となります。)

にほん
日本での就職を希望しますか (はい・いいえ)

1. 2026年4月以降の1ヶ月の平均予定収入 (同居の配偶者の収入も含む。) を記入してください。

事 項	申請者本人	同居の配偶者
仕送り受給額 (A)	_____円	_____円
アルバイト等の収入 (B)	_____円	_____円
2026年度に 受給する奨学金 (C)	_____円 _____ _____ 受給期間 年 月～ 年 月 _____	_____円 _____ _____ 受給期間 年 月～ 年 月 _____
1ヶ月の見込み収入 (=A+B+C)	_____円 ①	_____円 ②

世帯収入 (予定) 円/月 (①+②)

※預貯金は上記に該当しません。

2. 研究論文・取得した資格について記入してください。

※研究論文・取得した資格ともに証拠となる書類を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

- 研究論文 _____ 編
 国際学会発表 _____ 回

※・申請時より3年以内の論文を対象とします。

- ・ファーストオーサーとして、査読付きの学術雑誌に掲載された論文または査読付きの国際学会での発表に限ります。
- ・別紙「研究績一覧」を提出してください。また、論文タイトル・国際学術雑誌及び国際学会名・発行年・掲載ページ・著者・要旨が分かる書類を添付してください。添付がなければ、選考の対象とはなりません。
- ・オンライン等の代替手段がなく開催中止となった学会については、「発表予定であったことが確認できる書類」及び「公式な中止連絡に関する書類」、または「当該学会による発表実施とみなす書類」等に基づき弾力的に評価対象とする。

- TOEIC L&R _____ 点
 TOEIC S&W _____ 点
 TOEFL (IBT 、 CBT 、 PBT) _____ 点
 IELTS _____ 点
 日本語能力試験 N _____ 合格 総合点 _____ 点
 NAT-TEST _____ 級 総合点 _____ 点
 J. TEST _____ 級 点
 ビジネス日本語能力テスト (J3 、 J2 、 J1 、 J1+) _____ 点

※資格 (TOEIC、TOEFL、日本語能力試験など) の点数が記載されている合格通知書等の本紙を窓口に持参してください。その場で写しを取り、本紙は返却します。点数が分かる書類の本紙を提出しなければ、選考の対象とはなりません。

以上のことについて、相違ありません。

また、以下の事項についても了承いたします。

※以下の事項を確認したうえで、□にチェックをし、署名してください。

- 申請書類の記載事項に虚偽が発見された場合、大学において懲戒処分を受けた場合等により、各奨学金支給団体からの奨学金の支給が取り消されても、不服は申し立てられません。
- 本学での選考結果に関して、申請者に対しては推薦の可否以外については一切公表しません。

氏名

(自筆署名)

【参考】2025年度に選考を行った奨学金。

○2025年4月から8月までに選考を行った奨学金

- ・香川大学グローバル人材育成特定基金外国人留学生奨学援助事業 (A)
- ・J E E S 留学生奨学金 (修学)

○2025年9月以降に選考を行った奨学金

- ・高松北ロータリークラブ奨学金
- ・ロータリー米山記念奨学金
- ・平和中島財団外国人留学生奨学金
- ・公益財団法人藤井国際奨学財団奨学金
- ・公益信託川嶋章司記念スカラーシップ基金
- ・公益財団法人大塚敏美育英奨学財団奨学金
- ・公益財団法人安田奨学財団奨学金
- ・公益財団法人砂原児童基金外国人留学生奨学金
- ・一般財団法人共立国際交流奨学財団奨学金

※2026年度は変更となる可能性があります

けんきゅうせきいちらん

研究業績一覧

がくせきばんごう
学籍番号[

] 氏名[

]

① 論文タイトル ②国際学術雑誌及び国際学会名 ③発行年 ④掲載ページ ⑤著者を記入

・申請時より3年以内の論文を対象とする。

・ファーストオーサーとして、査読付きの国際学術雑誌に掲載または査読付きの国際学会で発表した論文に限る。

・論文タイトル・国際学術雑誌及び国際学会名・発行年・掲載ページ・著者・要旨が確認できる書類を添付してください。(論文全文を提出する必要はありません。)添付がなければ、選考の対象とはなりません。

・共同研究の場合はすべての著者名を記入し、応募者名には下線を引く。ただし著者が3名を超える場合は応募者を含む3名まで著者名を記入し、その他○名とする。

・下記「研究業績」欄に収まらない場合は、別添での提出も可とする。その際にはその旨を記載し、別紙にも応募者本人の学籍番号・氏名を記入すること。

・オンライン等の代替手段がなく開催中止となった学会については、「発表予定であったことが確認できる書類」及び「公式な中止連絡に関する書類」、または「当該学会による発表実施とみなす書類」を提出してください。

指導教員記入欄

以下の論文は、上記の条件を満たしていることを証明します。

署名

研究業績

① 論文タイトル (国際学術雑誌に掲載・国際学会発表 ※いずれか該当する方に○を付けてください。)

② 国際学術雑誌または国際学会名

③ 発行年

④ 掲載ページ

⑤ 著者

① 論文タイトル (国際学術雑誌に掲載・国際学会発表 ※いずれか該当する方に○を付けてください。)

② 国際学術雑誌または国際学会名

③ 発行年

④ 掲載ページ

⑤ 著者

① 論文タイトル (国際学術雑誌に掲載・国際学会発表 ※いずれか該当する方に○を付けてください。)

② 国際学術雑誌または国際学会名

③ 発行年

④ 掲載ページ

⑤ 著者

外国人留学生奨学援助事業 (B) 申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏名 印

下記のとおり、外国人留学生奨学援助事業(B)（正規課程の私費外国人留学生（ダブルディグリープログラム、ジョイントプログラム、「食と環境保全特別コース」プログラム等）のための奨学金）に推薦します。

記

フリガナ 留学生氏名（ローマ字）	性別	* 男 ・ 女	生年月日	年	月	日	生
漢字名		国籍	国	籍	地	域	
受入学部（研究科） 学科・課程（専攻）	* 学部 学科・課程 年 研究科 専攻 特別聴講学生・特別研究学生 ダブルディグリープログラム・ジョイントプログラム・「食と環境保全特別コース」プログラム・ その他のプログラム（ ） （ ）						
留学期間	年 月 日 ～ 年 月 日 (年・ヶ月)						
受給期間	年 月 日 ～ 年 月 日						
本国での在籍（出身）大学							
推薦理由							
部局長の推薦順位（2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい）							推薦順位 位

(注) 1. *印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。
 2. 各欄が不足する場合は枠を広げる等、適宜編集すること。

(様式 1-3)

外国人留学生奨学援助事業 (C) 申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏名 _____ 印 _____

下記のとおり、外国人留学生奨学援助事業(C)に推薦します。

記

フリガナ 留学生氏名 (ローマ字)	性別	* 男 ・ 女	生年月日	年 月 日
漢字名		国籍 地域		
受入学部 (研究科) 学科・課程 (専攻)	* 学部 学科・課程 年 研究科 専攻 特別聴講学生・特別研究学生			
留学期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (年・ヶ月)			
受給期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
本国での在籍 (出身) 大学				
留学生の1か月の収入	本人の1か月の収入額 _____ 円・US\$ 本国で同居する両親の月収入額 _____ 円・US\$ 受給している奨学金 _____ 円・US\$ (受給期間 ~)			
推薦理由				
部局長の推薦順位 (2名以上推薦する場合は推薦順位をつけて下さい)			推薦順位	位

(注) 1. *印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。2. 各欄が不足する場合は枠を広げる等、適宜編集すること。

外国人留学生奨学援助事業(E)申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏名 _____ 印 _____

下記の申請理由により、外国人留学生奨学援助事業(E)に推薦します。

記

申請者	所 属	学部		学科	年次
	氏 名	(申請者本人が署名)			
	現 住 所	〒 (-)	TEL. () -		
申請理由	経済的理由により授業料の納付が困難である事情や、その他、特に説明を要することについて、 申請者本人の立場 から具体的に記入してください。				
指導教員等の所見	指導教員等の所属・職名・氏名				
人物および学業成績等について記入してください。					

家庭調書

就学者	続柄	氏 名		9月1現在の勤務先①	①の開始年月	年間給与収入の計 (見込み) (円)	給与収入以外の 年間所得計 (仕送り等の見込み) (円)	奨学金受給年額 (見込み) (円)
		9月1日現在の職業	年齢	9月1現在の勤務先②	②の開始年月			
本人				年 月から				
	学生	歳		年 月から				

奨学金受給状況申立書

(西暦) _____年____月____日

香川大学長 殿

申立人氏名 _____
生年月日 _____年_____月_____ (____歳)

外国人留学生奨学援助事業（E）を申請するに当たり、下記のとおり申し立てます。

記

※奨学金の受給が無い場合も無にチェック☑をして提出してください。

1. 2026年度（2026年4月～2027年3月）奨学金受給予定

受給の有無/奨学金名称		給付・貸与	9月1日時点の状況	受給期間	月額
奨学金	□有	有の場合名称 ()	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給付	<input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 受給(採用)確定	年 月～ 年 月
	□無	有の場合名称 ()	<input type="checkbox"/> 貸与 <input type="checkbox"/> 給付	<input type="checkbox"/> 申請中・申請予定 <input type="checkbox"/> 受給(採用)確定	年 月～ 年 月

外国へ留学する学生援助事業(A)申請書

年 月 日

香川大学長 殿

推薦者 所属・職名 _____

氏 名 _____ 印

下記のとおり、外国へ留学する学生援助事業に、学生を推薦します。

記

【指導教員記入欄】

留学を希望する学生の氏名 学籍番号	(フリガナ)	性別	* 男・女	生年月日	年 月 日 生
所属学部(研究科) 学科・課程(専攻)	* 学部 研究科(修士・博士)	学科・課程	年 次		
留学の目的					
留学を希望する期間	年 月 日	～	年 月 日 (ヶ月)	留学の承認	* 既・未
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)				交流実績	* 有・無
留学先での勉学・研究計画の概要					
留学により期待される成果					
渡航に要する経費					
航空賃:	千円	滞在費:	千円	授業料等:	千円
他の資金等への申請状況(申請予定のものを含む。) 資金等の名称:					
航空賃:	千円	滞在費:	千円	授業料等:	千円
※算出方法 $〔秀・優の単位数〕 \times 3 + 〔良の単位数〕 \times 2 + 〔可の単位数〕 \times 1 + 〔不可の単位数〕 \times 0$ 総登録単位数(不可の単位数含む) 成績評価係数 _____ (小数点第2位まで) (原則として、本学における推薦時の前年度の成績から算出するが、前年度の成績がない場合は、推薦時の前学期分から算出するものとする。なお、前学期の成績もない場合は、直近の成績から算出するものとする。)					
部局長の推薦順位(2名以上推薦する場合は推薦順位をつけてください。)			推薦順位 位		

(注) 1. *印の箇所は、該当のものを○で囲むこと。

2. 留学の承認については、交流協定校及び交流実績のある大学等へ留学する場合は相手大学及び本学部局等の承認、それ以外の留学については、相手大学の承認について記載する。なお、留学に関する相手大学等との受入についての交渉状況が判る書類等を添付する。
3. 交流協定校ではないが交流実績のある大学等へ留学する場合は、交流実績を示す書類を添付する。
4. 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

【渡航者記入欄】

留学を希望する学生の氏名 学籍番号	(フリガナ)	性別	※ 男・女	生年月日	年 月 日 生
所属学部(研究科) 学科・課程(専攻)	* 学部 学科・課程 研究科(修士・博士)		年 次		
留学の目的					
留学を希望する期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (ヶ月)				
留学先大学等名 (学部・学科・ コース) (所在地)					
留学先での勉学・研究計画の概要					
留学により期待される成果					

外国人留学生奨学援助事業〔(A), (B), (C)〕在籍確認簿

氏名	所属	国籍	支給額
			／月

支給月	確認日	署名
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	
年 月	年 月 日	

外国人留学生奨学援助事業〔(A), (B), (C)〕実施報告書

年 月 日

香川大学長 殿

研究科 専攻
受給者 所属 学部 学科

氏名 (署名)

下記のとおり報告します。

記

記	
奨学金受給期間	年 月 日 ～ 年 月 日
受給額	奨学金 月 円 計 円
奨学金受給による成果 または 受講科目名及び単位数 (1,000字程度で 記入願います)	(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

外国へ留学する学生援助事業実施報告書

年 月 日

香川大学長 殿

受給者	研究科	専攻
所属	学部	学科

氏名	印
----	---

下記のとおり報告します。

記

留 学 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日
受給額	円
(教育・研究内容等にどのような成果が生じたかを具体的に記述してください。)	
奨学金受給による成果 (1,000字程度で 記入願います)	
奨学金受給についての 効果・感想等 (1,000字程度で 記入願います)	

(注) 各欄が不足する場合は、枠を広げる等、適宜編集すること。

外国へ留学する学生援助事業実施報告書

Report on Scholarship Student

年 月 日

受給者	所属	研究科	専攻
		学部	学科

氏名 _____

留学先大学名 _____

留学先大学の指導教員所見（留学による成果等）

Supervisor evaluation of student academic performance while studying abroad

_____ 年 月 日

Date

指導教員氏名 _____

Name